

ボランティアの養成・研修事業

「ボランティア養成セミナー」

1. 趣旨

ボランティア活動の意義を理解するとともに国立赤城青少年交流の家の自然環境を活かした様々な体験活動や学習を通して、青少年教育施設における子供たちの体験活動を支えるボランティアとしての必要な知識・技術について研修する。

2. 事業の概要

(1) 期日

令和7年5月31日（土）～6月1日（日）【1泊2日】

(2) 参加者

①参加対象 高校生以上

②参加人数 36名

③参加者の内訳 高校生24名、大学生8名、社会人4名

3. 企画運営のポイント

- (1) ボランティア活動を行う上で、必要な知識や技能を座学だけではなく、体験を通して学べるように計画した。
- (2) 法人ボランティアとして活動してきた先輩ボランティアが、自らの体験談を発表したり、プログラムの一部を担ったりすることで、ボランティア活動について具体的なイメージを持たせるとともに、より身近なものとしてとらえられるようにした。

4. 日程

	午 前	午 後	夜
5月31日 (土)	開会行事 講義・演習「ボランティア活動の技術」 講師：当所職員 中谷 仁 講義「青少年教育」 講師：大東文化大学 スポーツ・健康科学部 教授 中村 正雄 氏 教授 中村 正雄 氏	講義「ボランティア活動の意義」 講師：大東文化大学 スポーツ・健康科学部 教授 中村 正雄 氏 演習「ボランティア活動の技術」 講師：当所職員 山田 堯輝	説明「青少年教育施設におけるボランティア活動」 講師：法人ボランティア 大山 翔 阿部 美月
6月1日 (日)	講義・演習「安全管理」 講師：前橋市消防局北消防署 署員 講義「青少年教育施設の現状と運営」 講師：当所職員 次長 森原 強史	説明「法人ボランティア制度について」 講師：当所職員 山田 堯輝 閉会行事	

5. 主な活動内容



講義・演習「ボランティア活動の技術」



講義「ボランティア活動の意義」



講義・演習「ボランティア活動の技術」



説明「青少年教育施設のボランティア活動」



講義・演習「安全管理」



講義「青少年教育施設の現状と運営」

6. 成果と課題

(1) 参加者アンケート結果

満足 30名 (83%)、やや満足 5名 (14%)、やや不満 1名 (3%)

(2) 参加者の声

○とても過ごしやすい2日間で学べることがたくさんあり、楽しかった。

○ボランティア活動で恐怖心を感じさせずに安心してチャレンジできる環境を作りたいと思った。

○ボランティア活動の特性や心構えを理解して、「やらなければいけない」を「やつたらいい活動」と考え方を少し変えるだけで感じ方も変わると学ぶことができました。

○自分が楽しいだけでなく、周りにも気を配りながら過ごすことがとても大事だと分かった。

○先輩ボランティアの方の話を詳しく聞いて良かった。

○はじめは緊張しましたが、ボランティアの定義や大切さについて考えるだけでなく、実際に自分も体験することができたので、これからもこの経験を忘れないようにしたいです。

(3) 成果

○知識習得のための講義と技能習得のための実習を効果的に組み合わせることにより高い満足度につながった。

○先輩法人ボランティアが参加した事業について紹介したり、参加者同士が意見交換を行う場面を設けたりしたことで、参加者が実際の事業の様子やボランティア活動の具体的なイメージをもてるよう工夫した。

(4) 課題

○次年度以降は、広報活動を群馬県内の高等学校、大学に加え、近県への広報も実施するなど、参加者の増加に向けての工夫が必要である。

担当：山田 勇輝